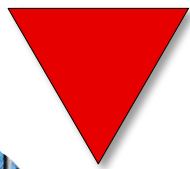


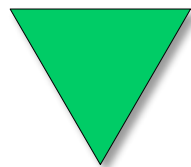
ひきの
2025



引野 校区 第一次

ふくしのまちづくり計画

笑顔で つながる
元気な引野



2029

引野校区小地域福祉活動第一次計画



ごあいさつ

令和6年7月に発足した引野校区小地域福祉活動計画策定委員会において、令和7年度から令和11年度までの5ヵ年計画を策定しましたので報告いたします。

引野校区では以前から、広報、啓発、訪問、調査、支援等の福祉活動や、引野山笠、運動会などの地域の伝統行事に取り組んできました。これらを通じて校区の「絆」を深め住民の皆さんの健康増進などを図っています。

人々の「絆」の重要性に気付いたのは2011年の東日本大震災の時でした。マスコミをはじめ、様々な折にその重要性が語られました。引野校区の先達が本当に大切なことを始め、取り組んできたことの重要性に遅ればせながら気づきました。だからこそ継続することの大切さを実感しています。

最後に、第3章計画体系の4重点実施項目「仲間づくりを通して後継者を育てよう」に向けて、引野校区の皆様のご協力をお願いいたします。

ぜひ引野校区の福祉活動や地域の伝統行事にご参加いただき、皆で一緒に盛り上げていきましょう！

この素晴らしい引野の伝統が末永く継続するように願っています。

令和7(2025)年3月



引野校区社会福祉協議会
会長 小南 順通

も く じ

第1章 計画策定にあたって	1
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第2章 引野校区の現状と課題	2
1 地域の特性	
2 地域の福祉課題	
第3章 計画体系	3
1 基本理念	
2 基本目標	
3 目標とする事業（体系図）	
4 重点実施項目	
第4章 計画の推進	7
1 地域への計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第二次計画の策定	
参考資料	8
1 策定委員会委員名簿	
2 策定委員会での協議事項	



第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、引野校区の様々な福祉課題を解決するために、既存の活動を活かしながら、住民や民間団体が将来の見通しをもって計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、引野校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び市・区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市の「地域福祉計画」及び北九州市・区社会福祉協議会が中心となって策定した「地域福祉活動計画」と整合性を図りながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 引野校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉活動の中核的な団体として多様な団体と連携を図りながら地域福祉を推進するために今後の活動方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有しています。

2 計画の期間

令和7(2025)年度～令和11(2029)年度までの5ヵ年とします。ただし、計画期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

引野校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、既存の活動を活かしながら、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、引野校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置し、引野校区「小地域福祉活動計画」を策定しました。



第2章 引野校区の現状と課題

1 地域の特性

出所：住民基本台帳

	平成 6(1994)年 9 月 30 日	平成 21(2009)年 9 月 30 日	令和 6 年(2024)年 9 月 30 日
世帯数	2,618 世帯	2,723 世帯	3,211 世帯
人口	7,030 人	6,322 人	6,851 人
14 歳以下	1,328 人(18.9%)	1,017 人(16.1%)	1,027 人(15.0%)
65 歳以上	680 人(9.7%)	1,198 人(18.9%)	1,696 人(24.8%)

小学校	引野小学校	活動拠点	引野市民センター
中学校	引野中学校	地域包括支援センター	八幡西 4

引野校区は八幡西区の北部に位置し、宮川を挟んで別所・鉄王と引野・割子川・養福寺に分かれています。穴生製鐵アパートを取り崩した跡地に、戸建ての住宅地が整備され若い世代が移り住んでいます。

主要国道沿いにあり都市高速のインターも近く、黒崎より環状線のバスが通っているなど交通の便がとても良い地域です。また、商業施設や医療機関も多く生活の利便性も良い地域です。

2 地域の福祉課題（及び小地域福祉活動の課題）

●行事が多く人のつながりが強いが、後継者不足に悩みがある

引野には行事が多く、子どもから高齢者まで幅広い多くの参加者が詰めかかっています。一方、行事を支える側は、メンバーの固定化と高齢化が徐々に広がり今後につなげていく取組みが喫緊の課題になっています。

●新しい世代の住民とのふれあいが少なく、情報が行き渡っていない

引野では、自治区会や町内会、子ども会などへの加入者が減少しています。その影響か、市や地域からの情報が十分に行き渡っていないのが現状です。

●住みやすい街ではあるが、一人暮らしの高齢者や空き家問題の課題がある

引野は、地域が落ち着いていて街並みが美しく、買い物や交通の便もよく住みやすい街です。近年、一人暮らしの高齢者や空き家が増えてきて地域の課題になっています。安心して住み続けるまちにしていく仕組みづくりを考えていく必要があります。

第3章

計画体系

引野校区では、地域共生社会の実現に向けて、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願い、基本理念と基本目標、具体的な取組みを定めました。

1 基本理念

「笑顔で つながる 元気な引野」

「いつまでも元気で長く住み続けたい」強い想いをもち続けられる仲間と、魅力あるまちづくりを目指します。

2 基本目標

(1) 子どもを「まんなか」に共に成長しよう（人づくり）

親子で参加したり、三世代で楽しみながら交流したりできるイベントの工夫やボランティアの掘り起こしをする等をして引野のまちの将来を担う人材の育成を目指します。

(2) 健康づくりでふれあおう（健康）

引野には健康づくりに積極的に取り組んでいる様々な団体が年間を通してイベントを行っています。体力作りだけではなく、仲間づくりにも一役買っています。閉じこもりがちな高齢者をなくす工夫をしています。

(3) 安心・安全なまちをつくろう（見守り）

福祉協力員や民生委員・児童委員、主任児童委員をはじめ、地域の多くの方が安心・安全なまちづくりに貢献しています。この先も安心・安全なまちであり続けるには、挨拶から始まる住民同士のコミュニケーションが必要です。

(4) 暮らしの情報を共有して支え合おう（助け合い）

ちょっとした暮らしの困りごとや子育ての悩みなどを気軽に話すことで、心穏やかで暮らしを豊かにすることができます。必要な方に有用な情報を発信できる仕組みづくりを考えていきます。



3 目標とする事業（体系図）

【基本理念】 『笑顔でつながる 元気な引野』	基本目標	5年間で実施する取り組み
	子どもを「まんなか」に 共に成長しよう	・三世代交流ふれあいもちつき＆スポーツフェスタ【社協】 ・どんど焼き【青少年育成会・まち協・もやい聖友会】 ・門松づくり【まち協・市民センター】 ・ラジオ体操（夏休み等）【まち協】 ・引野山笠【区会・子ども会】 ・子育て事業子ども講座【市民センター】 ・引野小の児童と風船バレー交流【社協】 ・すもう大会【子ども会・区会】 ・小中学生のボランティアの実施【小中学校・社協・市民センター】 ・子ども会活動【子ども会】 ・育児サークル【市民センター・まち協】 ・焼き芋大会【市民センター・まち協】
	健康づくりで ふれあおう	・話し合い活動【社協・まち協・区会・区民館】 ・サロン活動 散歩クラブ【社協】 ・センターサロン 引野お達者クラブ【社協】 ・区民館サロン 引野お達者クラブ【社協】 ・敬老会【社協】 ・新春三社参りウォーキング【まち協】 ・グラウンドゴルフ大会【まち協】 ・ふれあい昼食交流会【まち協・食進】 ・研修バスツアー【まち協・区民館】 ・健康づくり推進【まち協】 ・お花見ウォーキング【まち協】 ・大運動会【区会】 ・スポーツ大会（ちよいスポ・ソフトバレー・ユニカル）【区会・体育委員会・子ども会】
	安心・安全なまちを つくろう	・ふれあい訪問活動【社協】 ・認知症 SOS ネットワーク検索模擬訓練【社協・きらめき養福寺】 ・「お元気ですか？」の配付【社協】 ・夏休み夜間パトロール【地域の各団体・学校関係】 ・公園愛護会 花壇管理活動【区会】 ・市民防災会議【区会】 ・防犯灯管理【区会】 ・年末夜間パトロール【区会】 ・ゴミステーション維持管理【区会】 ・避難所開設【まち協・市民センター】 ・老人クラブ友愛活動
	くらしの情報を 共有して 支え合おう	・福祉協力員の集い【社協】 ・引野社協だより発行【社協】 ・ふれあい文化祭【まち協・区民館・市民センター】 ・区民館盆踊り大会【区民館】 ・春のふれあいフェスタ【区会】 ・区民館通信発行【区民館】 ・区会報【区会】 ・市民センターだより【市民センター・まち協】

※【社協】引野校区社会福祉協議会 【まち協】引野まちづくり協議会 【区会】引野自治区会

【区民館】引野区民館 【市民センター】引野市民センター 【食進】食生活改善推進員協議会

4 重点実施項目

今回定めた基本目標を達成するために、特に関係機関・団体と連携して重点的に進めていく事業を「重点実施項目」と定め、次のことを推進していきます。

重点実施項目		仲間づくりを通して 後継者を育てよう						
1 課題背景及び地域の現状								
・伝統行事が豊富で、人のつながりが強く集える機会が多い。しかし、高齢化が進み行事での若手の参加率が低下し後継者不足に悩んでいる。 ・青友会、引社会、長生会をはじめ各団体組織がしっかりしていて協力し合っているが、活動者の入れ替わりが少なく、ほぼ同じメンバーである。 ・交通の便や生活環境がよく住みやすい街であり、挨拶できる顔見知りが多く、声かけができて話を聞いてくれる人もいる。反面、自治区会(町内会)、子ども会の加入率が減ってきた。								
2 活動の方針・目標								
・多くの人に活動してもらえよう、子どもから大人までの参加意識を高めます。 ・イベントを工夫して新しい仲間を増やします。 ・住民同士が気軽に声をかけ合い、だれもが安心して暮らすことのできる関係を作ります。								
3 段階的な取組みの年次計画								
取組み内容		連携する機関	R7	R8	R9	R10	R11	備考
情報発信・広報活動	市民センターのLINE活用	・市民センター ・まち協 他						・地域情報のお知らせ
	小中学生とその保護者にお知らせする(配付物等)	・小中学校						・アプリやチラシで知らせる(QRの活用)
	学校で地域行事を紹介する	・小中学校 ・自治区会						・地域の良さを実感してもらう
助け合い	小中学生ボランティアグループの創設(ウエルクラブ)	・小中学校 ・市民センター ・自治区会 ・まち協 他						
	福祉協力員の募集	・自治区会 ・まち協						・広報誌 ・声かけ

引野校区小地域福祉活動第一次計画

取組み内容		連携する機関	R7	R8	R9	R10	R11	備考
イベントの工夫	各種行事内容を丁寧に説明し、協力者を募る	・自治区会 ・まち協 ・区民館 ・もやい聖友会 ・きらめき養福寺						
	ポスター掲示や協力者に記念品を渡す	・まち協 ・自治区会 ・区民館 ・もやい聖友会 ・きらめき養福寺						
	引野地区名所巡りスタンプラリー等	・まち協 ・自治区会 ・市民センター ・子ども会						R7は準備期間

第4章 計画の推進

1 地域への計画の承認と周知

計画を推進していくために、既存の地域活動と連携を図りながら、以下の計画の広報活動を行います。

- ① 地区社会福祉協議会総会等を通じた活動者への計画の承認と周知
- ② 計画の実施項目を進めていく上での関係機関団体への周知協力依頼
- ③ 計画書概要版の配布などを通じた地区住民への周知等

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、「引野校区小地域福祉活動計画推進委員会」を設置し、計画の進行管理等について、委員会で協議を進めていきます。

- ① 関係機関団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

(2) 計画の進行管理

「引野校区小地域福祉活動計画推進委員会」を年度に数回程度開催します。
(当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催)

委員会では、各団体との連携を図りながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合にはその原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

(3) 計画の評価

計画期間の中間時点(2027年度)では計画全体の間見直しを、最終年度(2029年度)には総括評価を行います。

3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間には新しく計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。

参考資料 【引野校区小地域福祉活動計画の策定経過】

1 引野校区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

	氏 名	所属団体	役 職
1	小南 順通	引野校区社会福祉協議会	会長
2	山本 英樹	引野校区社会福祉協議会	副会長
3	山内 弘一	引野校区社会福祉協議会	事務局長
4	城戸 由美	引野校区社会福祉協議会	事務局次長
5	臼井 勉	引野校区社会福祉協議会	会計
6	大府 章一	引野校区社会福祉協議会	監事
7	野中 悦子	引野まちづくり協議会	会長
8	高田 勝彦	引野自治区会	会長
9	野中 芳春	引野区民館	館長
10	宮本 徳之	引野校区青少年育成会	会長
11	森口 祐貴	引野校区体育委員会	会長
12	千田 良江	引野地区民生委員児童委員協議会	民生委員・児童委員
13	北村 都子	引野地区民生委員児童委員協議会	民生委員・児童委員
14	松尾 和味	引野地区主任児童委員協議会	主任児童委員
15	白田 美佐子	引野校区社会福祉協議会	福祉協力員2班班長
16	藤川 智鶴子	引野校区社会福祉協議会	福祉協力員3班班長
17	河野 君子	引野校区社会福祉協議会	福祉協力員4班班長
18	古賀 恭子	引野校区社会福祉協議会	福祉協力員5班班長
19	大崎 勝也	引野中学校	PTA 会長
20	藤嶋 佳代	引野子供会育成連絡会	会長
21	宗内 弥生	引野子供会育成連絡会	会長
22	杉山 隆祥	引野壮年会	会長
23	古賀 慎太郎	青友会	会長
24	桑鶴 千鶴	引野市民センター	館長
25	崎山 由紀	お里の家 きらめき養福寺	
26	伊東 浩樹	もやい聖友会	
27	小嶋 真悟	もやい聖友会	

2 引野校区小地域福祉活動計画策定委員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
1	R6 年 6 月 21 日 (金)	計画策定における説明会
2	R6 年 7 月 30 日 (火)	地域の困りごと課題を共有する
3	R6 年 8 月 27 日 (火)	既存活動の洗い出し、内容を体系的に整理
4	R6 年 9 月 24 日 (火)	重点実施項目を設定する
5	R6 年 10 月 29 日 (火)	重点実施項目について話し合い
6	R6 年 11 月 26 日 (火)	重点実施項目の仮決定、計画書・概要版の構成を考える
7	R7 年 1 月 28 日 (火)	重点実施項目の決定、計画書・概要版の編集作業
8	R7 年 2 月 18 日 (火)	計画書・概要版の最終確認

社会福祉協議会のイメージキャラクター
プチボザウルス Petit vo saurus



Petit (プチ：ちっちゃな)
Volunteer (ボランティア)
Saurus (サウルス≡恐竜)



引野校区社会福祉協議会

〒806-0068 北九州市八幡西区别所町 9-1 引野市民センター内
TEL 093-631-8055 FAX 093-631-8056

八幡西区社会福祉協議会

〒806-8510 北九州市八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ 6 階
TEL 093-642-5035 FAX 093-642-5077

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1-6 ウェルとばた内
(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351

